

とうきょう すくわくプログラム実践報告書

所在	大田区大森南 2 - 2 - 1 5
園名	大田区立森が崎保育園（5 歳児クラス）

1. 活動のテーマ

<テーマ>

運動あそび

<テーマの設定理由>

「よく見て、よく聞いて、よく考えて」をキーワードに、これまで運動あそびに取り組んできた。運動あそびの講師の言葉掛けや促しによって、さらにワクワク・ドキドキしながら自ら動きたくなるような運動あそびに取り組むため。

2. 活動スケジュール

公開保育研修の中で実施する。手順は以下のとおり。

- ① クラス担任の保育実践
- ② 講師による 5 歳児への保育実践
- ③ 公開保育参加者への講義と実技指導

* この報告書では、②の保育実践について記載する。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

鉄棒、マット、ビーム、巧技台、ファニートンネル、ロンディなどを使用しながら、ホールで活動する。

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

- ① リズムあそび「猛獣狩りに行こう」の動きを考える。
- ② サーキット状に設置した巧技台等に「猛獣」になって一つずつ全員で取り組む。
- ③ サーキット状に設置した巧技台等に各自好きなところで「猛獣」になって取り組む。

＜活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり＞

- ・以前講師が来園したときにこどもたちに伝えていただいた「よく見て、よく聞いて、よく考えて」というテーマは、その後のクラス保育の中でも実践してきた。講師がこのキーワードを伝えると、こどもたちからは、この言葉をもとにクラス担任と一緒に活動してきたことを嬉しそうに伝える姿があった。
- ・「猛獣って知っている？」という問いにこどもたちは答え、それがリズムあそびに反映されることで、より考えながら活動する様子がみられた。自分が答えた猛獣が登場したときには張り切る様子がみられ、これから始まる講師との運動あそびに期待が高まっているようだった。
- ・サーキットあそびでは、望ましい身体の使い方が認められることで正しい身体の使い方に気づき、気づいたことで丁寧かつ確実に行動しようとする姿があった。確実に行動することで、体をうまく使えて、より良い動き方に繋がり嬉しそうな様子も見られた。



らいおんの森



くまの森



さるの森

5. 振り返り ＜振り返りによって得た先生の気づき＞

- ・鉄棒の握り方やビームを渡るときの目線、ロンディに乗るときの重心など、適切なタイミングでこどもに助言を行うことで、こどもの理解が深まり、「できた」という達成感に繋がっていた。こどもの姿をよく見ながら声を掛けることが、こどもの「嬉しさ」に繋がっていくことをあらためて感じた。
- ・こどもの高揚感や予測できない思いから、想定していない行動が見られた。安全に活動するための環境づくりや言葉掛けについて学ぶことができた。
- ・講師による講義から、運動の有能感は「この動き、この遊び」ではなく楽しむ気持ちが必要であることを学んだ。
- ・講師自身が楽しそうに活動しており、自ら楽しみながら保育を行う重要性についてあらためて感じた。